

専念寺通信

5月号 (NO.165) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

風かおる五月となりました。初夏のような日もある今年の春、皆さまお変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。『専念寺通信』5月号をお届け致します。

☆施餓鬼会法要

5月25日(日)は施餓鬼会です。毎年200名を超す檀家さまを迎えて大法要を営みます。今年は、新しく住職になりました娘婿の小沼久志が初めて導師をつとめさせていただきます。

施餓鬼会は、餓えに苦しむ餓鬼に飲食(おんじき)を施す法会(ほうえ)です。餓鬼道に堕ちて苦しんでいる存在のために飲食を施すだけでなく、困難な状況にあるこの世のすべての生命に思いを致し、あわせて私たち自身もともに救われることを願います。

施餓鬼の由来はこのように伝えられています。お釈迦さまの弟子の阿難がある夕方、瞑想していると、口から炎を出す焰口餓鬼(えんくがき)が突然あらわれ、阿難の生命があと3日で終わると告げます。

阿難はお釈迦さまのもとに行き、教えを乞います。お釈迦さまは、餓鬼道に堕ちて苦しんでいる焰口餓鬼のために法要を行なうよう諭しました。法要を営んだ結果、餓えに苦しむすべての餓鬼は救われ、

阿難もまた、福德寿命を得ることができました。

「藤棚がきれいな白い花をたくさんつけました！」



「専念寺の新しい住職、小沼久志・はるな夫婦、先代住職夫婦、そしてスタッフの渡辺幸弥です。」

☆ごあいさつ

大黒の娘、小沼はるなよりご挨拶申し上げます。

夫の小沼久志が専念寺の住職をつとめさせていただくこととなり、私も今年より、母のもとで大黒修行をさせていただいております。

昨年までは子ども支援のNPO法人に勤務しておりました。これからは寺という場を活かして、子どもや恵まれない立場にいるかたの支援に取り組んでいけたらと思っております。

また、6歳と5歳のやんちゃ坊主がおり、にぎやかにしておりますが皆様にはご迷惑をおかけしないよう気をつけていきたいと存じます。(年子の男の子2人、久希(ひさき)と榛志(はるし)と申します)

また、スタッフの渡辺幸弥(ゆきみ)は私と同年代で、やはり同じくらい子どもを育てながら勤務しております。今後は、私どもが中心となって日常業務を行って参りますので、ご意見などなんなりとお聞かせください。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

娘よりのご挨拶を上にご書かせて頂きました。施餓鬼会当日、皆さまにお会いするのを心よりお待ちしております。

平成26年5月1日

大黒

